

第8回 身近な能楽講座

高砂

たか

さご



高砂やこの浦舟に帆をあげて
この浦舟に帆をあげて月も
ともに出けのばらみは路入
鳥影や遠く懸尾の伴過ま
はや住割に着きにけりは
住割にまきつけ



重要無形文化財総合指定保持者
観世流能楽師

松木千俊

入場無料

予約不要・全席自由席

撮影 前島吉裕

令和7年1月13日（月・祝日）

13時開場 14時開演

青葉の森公園芸術文化ホール

【みんなの能楽教室】体験発表

【番組】

お話

葛西聖司

仕舞

老松

大松洋一

野守

清水義也

舞囃子

鞍馬天狗

休憩 二十分

「高砂」を謡ってみよう
装束付け

(後半より)

高砂 松木千俊
村瀬 慧

(終了予定 午後四時)

出演者紹介
葛西聖司



旧NHKアナウサー
(公社)日本演劇
自行協会理事

大松洋一



舞世流シテ方楽楽師
能楽新形文化財
複合指定保持者

清水義也



舞世流シテ方楽楽師
能楽新形文化財
複合指定保持者

村瀬 慧



舞世流シテ方楽楽師
能楽新形文化財
複合指定保持者

「高砂」見どころ
能楽 稽古場

神が現れ、世を祝福するめでたい能の代表です。作者は世阿弥。古名をへ相生あいおいと言いました。松の葉が繁ることを、「高砂」との葉(和歌)が盛んになることに喩えて、松のめでたさが和歌の興隆につながり、さらに和歌の栄えは日本の平和を表すとされます。春の夕暮れの長閑さの中で映える松の緑の描写も、平和な世の永続を志願させるものです。

今回は後半より演じます。住吉明神の遺裏とした舞が見どころ。住吉明神は、一般的には老体の姿で表されることが多いのですが、能では若く力強い男の神として出現します。能の舞の中でもかなり速いテンポの舞を舞います。最後の謡に合わせた舞でも、賑やかな所作が続きます。

(高砂)には結城式などのおめでたい席で謡われる「祝言謡(しゅうげんうたい)」が多く含まれています。 能サボ推し

舞囃子とは：
仕舞に囃子が入る

仕舞とは：装束・面を付けず、
曲のクライマックスを謡で舞う

※1月13日限定

松の会よりプレゼント

「千葉市二十歳のつどい入場券」の葉書き
または、
A5サイズのチラシをご持参された方
先着 20名様

◎身近な能楽講座 特別優待席へのご案内
◎令和7年1月25日(土)
第37回榎(まゆみ)の会
能「正尊(しょうぞん)」他
シテ 松木千俊 解説 葛西聖司
場所：銀座SIX 地下3階 観世能楽堂
無料招待券



松の会ご案内
<http://matsunokai.com/>

青葉の森公園芸術文化ホール交通のご案内 千葉市中央区青葉町977-1 tel: 043-266-3511

会場案内



■バスをご利用の方

【JR 千葉駅東口 2番乗り場 千葉中央バス】
・星久喜台経由
(善田駅行・大宮団地行・鎌取駅行・千葉リハビリセンター行)
ハーモニープラザ下車 徒歩8分

【JR 千葉駅東口 7番乗り場 京成バス】
・大学病院 南矢作行き 中央博物館前下車 徒歩10分

【JR 蘇我駅東口 2番乗り場】
・大学病院行き 芸術文化ホール前下車 徒歩5分

【京成千原線 千葉寺駅より】 徒歩15分 又は
・大学病院行き 芸術文化ホール前下車 徒歩5分

■お車でお越しの方

・京葉道路 松ヶ丘(インター)より 車約10分
・千葉東金有料道路 千葉東インターより 車約10分
※青葉の森公園管理の有料駐車場をご利用下さると便利です
併し他の施設での利用が有る場合渋滞になる事があります

1月19日 青葉能 言多流「清経」

主催 一般社団法人 松の会 ・ 公益財団法人 千葉県文化振興財団

後援 千葉県/千葉県教育委員会/千葉市教育委員会/船橋市教育委員会/市原市教育委員会

四街道市教育委員会/千葉県能楽連盟/千葉市能楽連合会/株式会社 千葉日報/千葉テレビ放送

お問合せ先 一般社団法人 松の会 千葉支部

担当 鈴木 靖 tel: 090-9732-7791 E-mail: suzuki-yasusi@ca3.so-net.ne.jp